

新時代の 中東・イスラーム研究を拓く

国際研究教育拠点設置の意義と抱負

2019年10月1日、立命館大学に新たに「中東・イスラーム研究センター（CMEIS）」が設置されました。CMEISは、立命館大学の大規模総合私立大学としての強みを活かし、新時代の中東・イスラーム研究のための国際研究教育拠点となることを目指します。この設置記念講演会では、3人のスタッフが、それぞれの専門分野の紹介を通して、その意義と抱負を熱く語ります。

日時：**2019年11月4日**(月・祝) **14:40～16:10**
(開場時間：14:10)

場所：立命館大学衣笠キャンパス
以学館2号ホール(定員500名)

アクセス：<http://www.ritsumei.ac.jp/accessmap/kinugasa/>
〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
TEL 075-465-8144 (キャンパスインフォメーション)

事前登録不要

入場無料



司会：池端 路子

(立命館大学衣笠総合研究機構・プロジェクト研究員、学振PD)

14:40-14:50 開会挨拶とCMEISの紹介：

末近 浩太 (CMEISセンター長、国際関係学部・教授)

14:50-15:10 **小杉 泰** (アジア・日本研究機構・教授)

「研究という人生の喜び：

中東・イスラーム研究の沃野から」



15:10-15:30 **鳥山 純子** (国際関係学部・准教授)

「外からの中東、中からの中東：

中東ジェンダー学のスミ」



15:30-15:50 **末近 浩太** (国際関係学部・教授)

「「中東・イスラーム研究」とは何か：

地域研究からの新たな挑戦

15:50-16:05 質疑応答

16:05-16:10 閉会挨拶、アンケート記入

